

文部科学省 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
GASSHUKU（合宿）と DOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成
「日韓みらいファクトリーフォーラム2026 in 東京」募集要項

1 概要

筑波大学は、令和 6 年 11 月に文部科学省より大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業「GASSHUKU（合宿）と DOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成（以下、「SI 事業」とします）」に採択され、多様な取り組みを進めています。GASSHUKU（合宿）とは、国内で実施する多文化共修プログラム、DOJO（道場）とは海外で実施する多文化共修プログラムのことを示します。

ソーシャルインパクト推進室では、東京キャンパス文京校舎を舞台に、韓国から招へいする学生と多文化共修を行います。日本と韓国の学生で混合チームを組み、4 泊 5 日間の対面研修プログラム（別途、事前・事後研修を含む）に参加しながら、両国に共通、または地球規模の課題に対し、互いの国の知見・資源等を活用して解決するソーシャルビジネスや政策提言のアイデアを構想し発表します。今年の GASSHUKU プログラムのテーマは「**少子高齢化時代の課題に向き合い、私たちのアイデアで未来社会をデザインしてみよう**」です。本プログラムを通じて「課題発見および解決能力、異文化コミュニケーション能力、チーム協業能力」を備えたグローバル人材に成長し、学生の皆さんのキャリアデザインの道標になることを願っています。両国に共通する社会課題にアプローチし、ソーシャルインパクトの創出を図る、新しい価値の創造体験にご関心のある参加学生を募集しますので、ぜひご検討ください。

【プログラムの詳細と申込はウェブサイトをご参照ください。】

<https://miraefactory.jp/2026tokyo/>

申込期間（1 次募集）：令和 8 年 5 月 18 日（月）09:00 ～6 月 12 日（金）23:59

*** 定員を超える場合は選抜いたします。なお、状況によっては、2 次募集を行います。**

2 参加に関するご案内

日 程：オリエンテーション 7 月 24 日（金）18:15-19:30、事前研修 8 月 4 日（火）18:15-20:00
対面研修 8 月 24 日（月）～28 日（金）、事後研修 9 月 4 日（金）18:15-20:00

*** オリエンテーション、事前研修及び事後研修はオンラインで開催いたします。**

場 所：【会場】筑波大学東京キャンパス文京校舎、【宿泊】東京上野ユースホステル

人 数：40 人（日本国内の学校に在学する学生）※韓国からは 40 名の学生が参加します。

対 象：・ 本学及び学外一般の学士課程の学生及び博士前期課程の学生 ※留学生歓迎・国籍不問

- ・ 日韓交流や国際交流など多文化共生社会の実現に関心のあること
- ・ 今後グローバルなマインドを持って活躍する目標があること
- ・ 未来社会のデザイン、ソーシャルビジネス・政策提言に関心があること
- ・ 韓国語または英語による日常会話が可能なこと（流暢でなくても申請可能）。

参加費：2 万円程度（宿泊費）

*** 宿泊施設の都合上、食事の提供はありません。**

*** そのほか、現地までの交通費やプログラム中の移動にかかる一部費用は別途負担となります。**

3 プログラムについて

<授業名>

【8331153】多文化共修による課題解決実習（国内）A（1単位/春学期随時/自由科目）

「日韓みらいファクトリーフォーラム 2026 in 東京」

授業担当教員：メナ・アーロン（筑波大学 教育推進部 教育推進課 国際共修担当 特任教授）

李 健實（茨城大学 人文社会科学部 人間文化学科 講師／筑波大学 非常勤講師）

<授業概要>

日本をはじめとする世界各国では、少子高齢化の進行に伴い、地域社会の担い手不足、人口減少、孤立、労働力不足など、さまざまな社会課題が深刻化しています。その一方で、外国人労働者や観光客の増加、グローバル化時代のヒト・モノの移動、地方創生、オーバーツーリズム、AI の進展など、社会は大きな転換期を迎えています。この授業では、テクノロジーの進化が進む未来社会において、私たち人や社会はどのように向き合っていく必要があるのかを考えます。日本や海外の事例をもとに、地域、観光、多文化共生、テクノロジー、教育、福祉など多様な視点から社会課題を分析し、持続可能な未来社会のあり方について探究します。多様なバックグラウンドを持つ学生同士がチームを組み、対話・フィールドワーク・ディスカッション・課題解決型学習（PBL）を通じて、未来社会に向けたアイデアや提案を創出します。

<履修登録>

この授業の履修は先着順です。参加決定者に対して 6 月末ごろを目処に通知します。参加決定者の履修登録は授業担当教員が行うので、皆さんが登録する必要はありませんが、何か相談されたいことがありましたらご連絡ください。

<単位及び修了認定について>

この授業では単位の認定に加え、全日程に参加し、所定課程を修めたと認める者には、日本発のオンライン学習プラットフォームである JV-Campus を通じてデジタル・オープンバッジ（シルバー）を発行します。デジタル・オープンバッジの有効活用方法については下記サイトを参照ください。学外の方は単位の認定はできませんので、予めご了承ください。（デジタル・オープンバッジは発行いたします）

<https://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/global-start-uppers/jp/>

4 その他

この授業では、記録及び広報のため、活動の様子を写真及び動画の撮影を行いますので、予めご承知をお願いします。

<お問い合わせ先>

国立大学法人筑波大学 教育推進部

教育推進課 国際共修担当

TEL：029-853-5078

E-mail：social.impact.staff@un.tsukuba.ac.jp

別紙

日程	内容
7月24日（金） 18:15-19:30 オンライン実施	＜オリエンテーション＞ 授業に関するガイダンスを行います
8月4日（火） 18:15-20:00 オンライン実施	＜事前研修＞ 多文化共修プログラムに参加する上で必要な異文化コミュニケーションの理論と導入を概観します
8月24日（月） 12:00-18:00 現地集合 筑波大学東京キャンパス文京校舎	＜対面研修＞ 参加登録、開会式 課題解決型学習 1（アイスブレイク／チーム構成）
8月25日（火） 10:00-18:00 筑波大学東京キャンパス文京校舎	＜対面研修＞ 共創プログラム（産官学連携） 課題解決型学習 2（課題設定／探究／解決策の模索・検討）
8月26日（水） 10:00-18:00 筑波大学東京キャンパス文京校舎	＜対面研修＞ 駐日韓国大使館・韓国文化院訪問プログラム 課題解決型学習 3（課題設定／探究／解決策の模索・検討）
8月27日（木） 10:00-18:00 筑波大学東京キャンパス文京校舎	＜対面研修＞ 共創プログラム（産官学連携） 課題解決型学習 4（発表準備）
8月28日（金） 10:00-13:30 現地解散 筑波大学東京キャンパス文京校舎	＜対面研修＞ 最終発表会、閉会式
9月4日（金） 18:15-20:00 オンライン実施	＜事後研修＞ プログラム全体の振り返りを個人そしてチームメンバー間において省察し、キャリアデザインを展望します

* 授業内容は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。